

勝かつ
海舟かいしゅう
(峰みね
章山しょうざん)

君知来襲列夷危
説是海舟兵学師
幕落難時奔内外
維新日本頭英姿

解説 勝 海舟の活躍を表した詩。

君きみ
知るしるや
来襲らいしゅうす
列夷れつゐの
危あやうきを

説とくは
是これ
海舟かいしゅう
兵学へいがくの
師し

幕落ぼくらくの
難時なんじ
内外ないがいに
奔ほんし

維新いしんの
日本にっぽん
英姿えいしを
頭あらかす

語釈 ※君||坂本龍馬のこと。 ※来襲||襲ってくる。攻めてくること。 ※列夷||列をなしている蝦夷。いわゆる諸外国のこと。 ※兵学の師||龍馬の師、勝 海舟のこと。 ※幕落||徳川幕府の権力がなくなってきた。 ※難時||困難な事柄。 ※奔||はしる。 ※維新||すべてが改まって新しくなること。特に、政治や社会の革新。 ※英姿||勇ましく、りっぱな姿。 ※頭||広く世間に知らせる。

通釈 この日本に諸外国が襲ってこようとしていることを、知っているかと龍馬に説く勝海舟。現在、幕府の力がなくなっているこの時にこそ、この国を走り抜き、この日本に維新を起こそうとしている私の姿が、これからの君に影響与えるであろうと。